

平成 29 年度「第 4 回ケアラーズ交流会」開催報告

【日時】平成 29 年 11 月 17 日（金） 13：30～15：30

【場所】集い場 木かげ（住吉商店街）

【参加】ケアラー 3 名、ケアラー経験者 3 名、サポーター 3 名

琴海地域包括支援センター 2 名

緑が丘地域包括支援センター 2 名

医歯薬学総合研究科 井口教授

ダイバーシティ推進センター 内野介護コンシェルジュ

第 4 回ケアラーズ交流会の会場は前回同様、人の流れが多い住吉商店街地区で地域の人
が気軽に集える場（地域の縁側）作りに取り組んでおられる「集い場 木かげ」をお借りし
ました。

最初に長崎市琴海地域包括支援センターの管理者谷氏より「地域でのささえあい」と題し
て、少子高齢化社会の現状を含め、なぜ地域で支えないといけないのか、高齢者を地域で支
えるとはどういうことか等を事例を交えながら話していただきました。DVD 視聴を入れて
の講話でわかりやすく、また感動するとともに、考えさせられる内容でした。14 名の聴講
者が熱心に耳を傾け、多くの質問にもお答えいただきました。その後、参加者が自由に話を
したり、相談するような内容で進めました。

今回は 3 名のケアラーが参加され、以前介護を経験された方や今後交流会を開催したい
という方も参加されました。また、緑が丘地域包括支援センターから、専門家 2 名にご協力
いただきました。ケアラーのみなさんは、日々の介護を一生懸命にされており、それぞれの
悩みや思いをじっくりお話できる機会となりました。専門職には専門的な立場から、助言を
いただきました。



アンケートでは、参加された全ての方が「参加して大変よかった」「よかった」と回答さ
れ、自由記述欄には「琴海包括の支え合い地域の輪がとても素晴らしかった。見守り支援で

一人暮らしの高齢者が安心して生活できることがわかり嬉しかった」「とても感動しました」「活動内容にとても感銘を受けた」「このような会は介護者家族にとって必要だと思う」「みなさんの心の叫びを聞くことができた」等の感想やご意見がありました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、介護者が孤立することなく、介護者とともに社会参加できるよう、また介護を1人で抱え込まないように、介護者が持つお互いの悩みや解決策の情報交換の場を作り、地域のケアラーの孤立を防ぎ精神的な支えとなるコミュニティの形成ができるよう、地域のみなさまのお力をお借りしながら取り組んでまいります。この交流会が、お互い助けあえる場、支えあえる場として根付き、参加されたみなさまがほっとして帰ることのできる場となるよう、次回は2月に開催します。